

# きらきら ひかる 展

世界の  
輝く宝もの。

## 記念講演会

# 「きらびやかな漆」

人間国宝の室瀬和美氏が、  
日本の美「蒔絵」の魅力についてお話しします。

日時：9月16日（日）

受付 13:30 / 講演 14:00~16:00

場所：美術館講堂

講師：室瀬 和美 氏

〈重要無形文化財「蒔絵」保持者（人間国宝）〉

申込：不要

\*聴講には「きらきらひかる展の観覧券」が必要です。

観覧：一般 ¥800 (600)・大学生 ¥600 (400)

高校生以下は無料

\*障がい者手帳（精神障害者福祉手帳・療養手帳）を  
お持ちの方と介助者1人まで観覧無料

\*65歳以上・モノレール1日乗車券利用者は団体料金

\*（ ）は20名以上の団体料金



室瀬 和美 氏 Kazumi Murose

1950年東京生まれ。漆芸作家の父・室瀬春二氏の仕事を見ながら育ち、高校生のとき漆芸・蒔絵の道を志す。東京藝術大学大学院（漆芸専攻）修了。人間国宝の松田権六、田口善国に師事、旺盛な創作活動と並び、漆工文化財の保存・修復に取り組み、1996～98年に手がけた三嶋大社所蔵の国宝『梅蒔絵手箱』の復元模造はその後の創作活動に大きな影響を与えた。漆の美と素晴らしさを国内外で発信し続けている。日本伝統工芸展などにおいて、東京都知事賞など多数受賞。2008年、重要無形文化財「蒔絵」保持者（人間国宝）に認定。同年、紫綬褒章受章。日本工芸会副理事長。近著、『Maki-e Urushi 室瀬和美作品集』（新潮社図書編集室、2014年）。

写真は『Maki-e Urushi 室瀬和美作品集』より出典  
略歴はポーラ伝統文化振興財団伝統と文化41号より転記



『蒔絵螺鈿丸篋「秋奏」』

きらきら  
ひかる  
展

琉球や日本、様々な国や地域のきらめく宝ものを紹介します。

2018 9.14 金 ▶ 10.28 日

琉球漆芸とアートに出会う

# 浦添市美術館

URASOE ART MUSEUM

住所 | 〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1-9-2

開館 | 9:30~17:00 (金曜日9:30~19:00)

休館 | 月曜日 ※9/17・9/24・10/8は開館

※最終入館は閉館30分前まで

電話 | 098・879・3219

